

PCBなどは、溶出試験の結果をみてもPCBなどの有害物質は検出されませんので問題はありません。

埋立後の汚泥はセメントなどの添加剤により固化するため、処理した汚泥の埋立後は二次公害の発生はまずないものと考えられます。

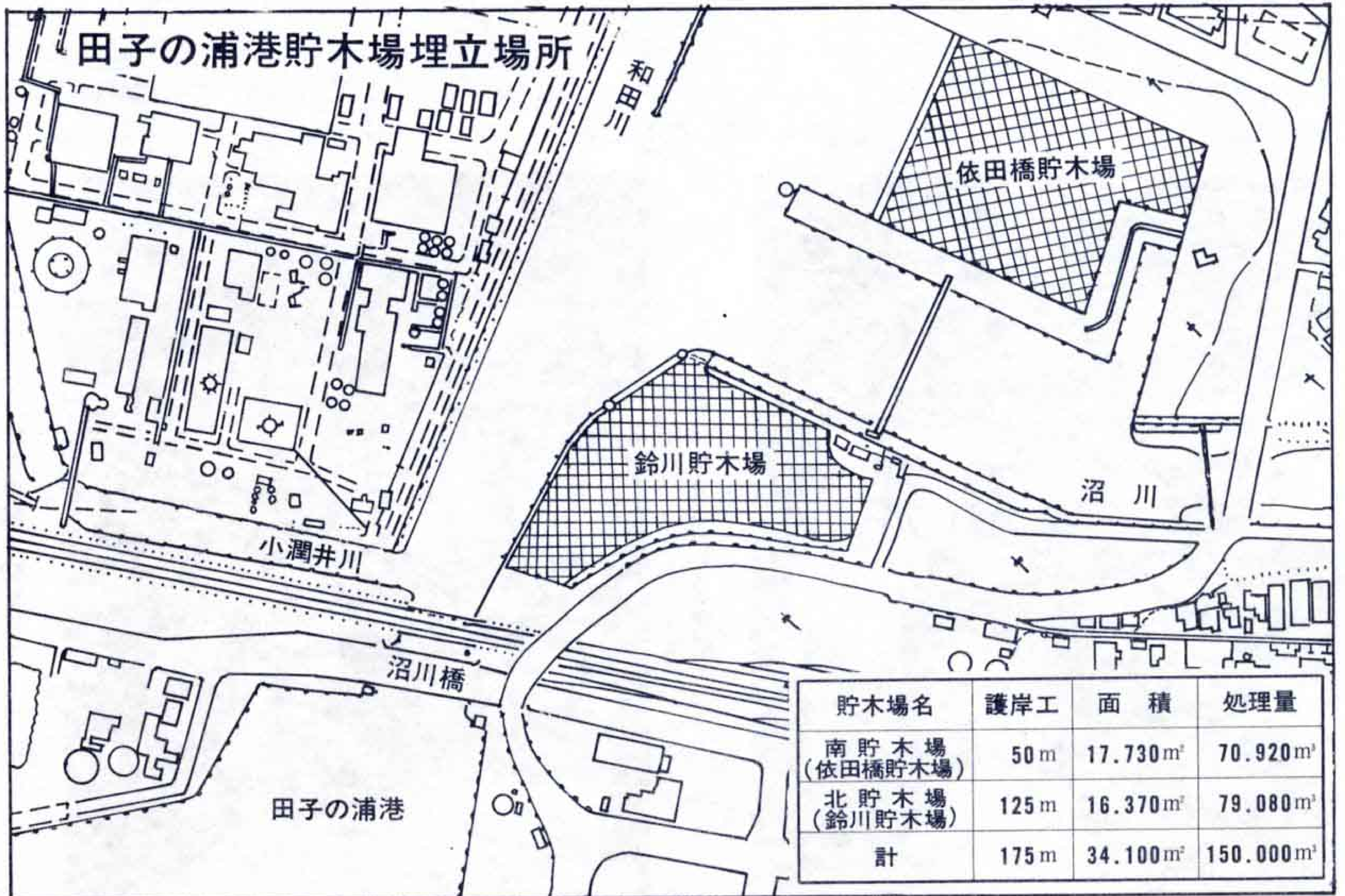
今後の恒久対策

田子の浦港に流れ込む汚水が現状

のままでは、再び同じような問題の発生が考えられます。そこで、現在規制されている工場排水の基準を更に厳しくして工場排水が原因で田子の浦港に堆積する年間約7万立方メートルの汚泥を2万立方メートルまで削減する計画が進められており、この程度の堆積汚泥は、県が行う通常の維持しゅんせつで処理できるので今後、再び問題が起らないよう配慮されていま

す。

なお、市はこの事業の再開計画をうけていち早く田子浦港汚泥処理対策班を編成し、慎重に検討を加えてまいりました。その結果、県に全面的に協力する立場で今後地元の依田橋及び鈴川の各町内にこの事業計画の説明会を開催するなど、地元の方のご理解とご協力をお願いしてまいります。



おべんとうをもって楽しい遠足

おとしよりだけの「厚原歩こう友の会」

おとしよりだけで、元気に毎月歩く会をつづけているグループがあります。老人だからといって家にこもってばかりいないで、みなさんもグループをつくってやってみませんか

このグループは、「厚原歩こう友の会」といって厚原西と厚原中に住む60才以上のおとしよりばかりでつくっている会員30人のグループです。毎月1日と15日の2回、約4廻程度のコースを選んで野山を歩いていま

す。グループを結成したのが3年前。

会長の平井しづさんが提案してはじめたもので、最初のうちは5人位のグループでしたが、健康づくりと親ほくをかねた歩く会を見て、次第に参加者が増え今では若い人達もときどき参加するそうです。

歩いたあと、野山でおにぎりを食べながら世間

話に花を咲かせるのが何よりの楽しみとか。次の会が待ちどおしいと会員のみなさんは張り切っています。

【楽しそうなおとしよりの遠足】

